○８月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」・夏の「郷土に学び・育む青少年運動」（７月１日～８月３１日）　○人権に関する主な週間や記念日等　「人権同和問題啓発強調月間」

十島村教育委員会だより　令和元年７月号

さわやかトカラ情報

南北１６０km　「心をつなぎ　気概に満ちた」十島の教育

十島村教育委員会
〒892-0822鹿児島市泉町13番13号
TEL　099-227-9771

7月・・・１学期を終えて

十島村教育委員会
教育長　有村　孝一

4月からのこの4カ月余りは、たいへん時の過ぎていくのが、早かったように思います。何故かと考えてみますと、行事等が目白押しだったということが言えるのではないでしょうか。

転入教職員宣誓式(4/1)

少々あげてみますと、4月1日に転入教職員辞令交付式・宣誓式及び各島へ到着・着任、4月8日は始業式・入学式、4月12日TV会議活用推進委員会、4月18日と19日に全国学力・学習状況調査、4月30日に鹿児島県知事十島村訪問、5月14日と15日に年度当初学校訪問、5月27日にユネスコ登録認定書伝達式、6月1日に悪石島ボゼユネスコ登録記念行事、6月4日から8日に小学校集合学習、6月2日から8日に中学校修学旅行、6月11日に宝島学校訪問、6月20日（木）小宝島村政座談会、6月21日に諏訪之瀬島村政座談会、7月2日に中之島学校訪問、7月8日に定例教育委員会です。

ざっとあげてもこんなにあります。それぞれの行事には目的があります。その目的を達成するために、各島の方々や各学校の先生方の協力をいただかなくてはなりません。けっして教育委員会だけでは、成し遂げられるものではありません。本当にありがたいと思っています。改めて感謝したいと思います。

児童・生徒に限って言いますと、それぞれの行事を終了するたびごとに成長し、各島の子どもたちの距離がだんだん近づいてきているのを感じます。

ところで、令和元年度の児童・生徒数は、99人で始まりました。そのうち地元やI・Uターンの所が44人、教員等が29人、山海留学生が26人です。地元やI・Uターンで44%、教員等や留学生が56%になっています。これらの数字は、年ごとに変わりますので、決して楽観できる数字ではありません。村は、目標を100人においています。数字の上ではあと一人のようですが、一人転出したら、一人が転入という具合に、何とかうまくいっているのが現状です。それもいつ崩れてしまうか分かりません。

カーネーションの受取(5/10)

今後、2学期に向けて、児童・生徒数の確保及び増加についてより一層のお願いをしていきたいと思います。一方で、山海留学の里親もいつでもいいですので、やってみようかな。と言われる方は、いつでも連絡をください。

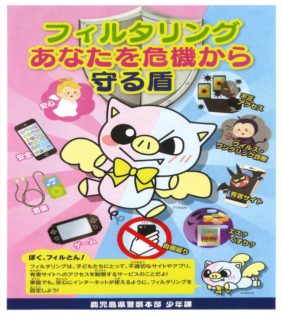
それでは、楽しい夏休みにすると共に、来たるべき2学期が、充実したものとなることを心から願っています。

県青少年保護育成条例が改正されました。

(令和元年７月１日から施行)

1　児童ポルノ自画撮り被害防止のための規定が新設されました。

2　青少年のインターネット利用に関して，フィルタリング利用促進のための規定が整備されました。
(保護者の責務：フィルタリングの設定)


フィルタリング
あなたを危機から守る盾
安心
安全
音楽
ゲーム
不正アクセス
ウイルス・ワンクリック詐欺
有害サイト
エス？くすり？
自画撮り
ぼく、フィルとん!
フィルタリングは、子どもたちにとって、不適切なサイトやアプリ、有害サイトへのアクセスを制限するサービスのことだよ!
家庭でも、安心にインターネットが使えるように、フィルタリングを設定しよう!
鹿児島県警察本部 少年課

シリーズ　新聞に投稿

（令和元年７月５日南日本新聞「若い目」掲載）

宝島小２年　竹内　楽花

複式学級（ふくしきがっきゅう）

２年生になりました。去年は１年生だけの学きゅうでしたが、今年はしん１年生が入学してきたので、はじめてのふくしき学きゅうになりました。はじめ、しんぱいなことがありました。１年生と２年生で学しゅうすることがちがうので、まえとうしろの黒板をつかいます。先生が１年生のべんきょうを見ている間は、２年生はじぶんたちですすめていかなければなりません。

５月になり、こくごで「たんぽぽのちえ」を学しゅうしたときに「とき、ちえ、わけ」を、じぶんたちでかんがえるじかんがありました。４月のじぶんたちだったら、かんがえをまとめることはむずかしかったとおもいます。１カ月たった今、かんがえをまとめることができるようになりました。

先生が「じぶんたちですすめられるようになって、すごいね」と言いました。今までできなかったことが、できるようになった気がしてうれしかったです。

シリーズ　新聞に投稿

（令和元年７月１５日南日本新聞「若い目」掲載）

宝島中１年　尾家　礼都

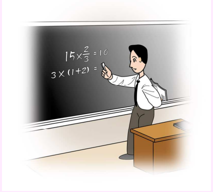
他では体験できない授業参観

「授業参観」というのは、普通たくさんの親が授業を参観している中で子どもたちが学習することである。しかし、僕の授業参観は、他の人には考えられないようなすごいことになった。

中学校に入学して初めての授業参観のことだった。この宝島中学校は生徒の人数が少ないため、生徒と先生が１対１で学習することがある。この学校では、父が数学の先生として授業をしている。そう、その日の授業参観は「尾家先生」の数学の授業だったのだ。

なんと、父に教えてもらい、それを母が見ているという状況だったのだ。他ではありえないような、少し重たい空気が流れていた。教室には僕以外の生徒はおらず、本物の親子による授業参観だった。内容は文字式を習っていたはずだが、なかなか頭に入ってこなかった。

こんな経験は、他では絶対に味わえないことだ。必ず忘れないようにし、大切な思い出にしたい。



七島集合学習

十島村立中之島小中学校　校長　大戸徹三

第２回七島集合学習（６月４日～８日）が中之島で開催されました。

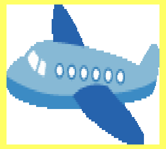
梅雨時期での開催で天候も心配されましたが，期間中は晴れた日が多くほぼ計画通りに進めることができました。

村内５・６年生総勢２７名は，集団生活を通して，友だちのよさや協力し，支え合うことの大切さや素晴らしさを学ぶとともに，中之島の自然体験を通して自分たちの島や十島全体のよさも学ぶことができたと思います。これらの経験を今後の生活にいかしてくれることと思います。

海外派遣ホームスティ事業 in Australia

研修期間　令和元年８月９日～８月２２日（１４日間）
研修地域　オーストラリア
下記の５名の生徒が派遣されます。

○　口　之　島　永吉美遥（中３）
○　諏訪之瀬島　菅野美沙希（中３）
○　悪　石　島　久永ひかり（中２）
○　小　宝　島　下川陽翔（中２）
○　宝　　　島　福島嘉津穂（中２）



【平島小・中学校からのメッセージ】

教諭　山下　史朗

昨年の４月，私は，鹿児島県本土の薩摩川内市の小学校から，ここ平島小・中学校へ赴任しました。離島生活は初めてで多少の不安はありましたが，港に着き，本校職員や島民の皆様の温かな歓迎を受けたとき，ここで精一杯頑張ろうという思いが湧き上がってきました。

平島は面積２平方キロ，人口約９０人の小島です。ここには，平安時代末期の源平の合戦のあと，西日本から逃れてきた平氏の一部が島に定住したという言い伝えがあり，島の北東部には，平氏の落人が，追っ手の接近を見張るために使っていたという「平家の穴」という岩穴があります。その歴史を想像するととても神秘的な気持ちになります。

私は，仕事が休みの日には通船作業や自治会の奉仕作業，リサイクル活動，蚊の駆除作業などにも参加させていただき，島民の一員として充実した日々を過ごしています。

平島小・中学校では，小学生１０名，中学生５名が元気いっぱいに学んでいます。親元を離れて寮で生活している山海留学生が約半数を占めています。いつか島立をしていく子供たちに確かな力を付けていくことが私たち教師に与えられた使命だと心から思います。今年の夏から本校にもいよいよＡＬＴが赴任します。これまでに十島村教委のオーウェン先生や中之島小・中学校のエリック先生にご指導を受け，子供たちも英語の楽しさを味わってきています。今後も益々，外国語教育にも力を入れていきたいと考えています。そして，十島村ならでは教育環境を生かし，日々，努力して参りたいと思います。

『教職員仲間であるあなた』への私からのメッセージ

同じ十島村でありながら，海を隔てているために，直接話をする機会がなかなかない環境ですが，同じ十島村の教員として，十島の子供たちのためにお互いに頑張りましょう。

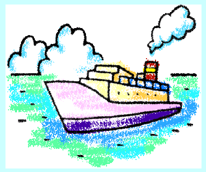
シリーズ・・・十島村で学ぶ

悪石島小学校　６年　片野田　奏

「おかえりなさい」が聞きたくて

私は、四年前にこの悪石島に引っ越してきました。島に来るときは、初めての島での生活に、不安な気持ちしかありませんでした。しかし、緊張している私に、島民の方々は積極的に話しかけてくださり、私の緊張をほぐしてくださったのを今でも覚えています。

夏休みなど長い休みの時、上鹿し、久しぶりに悪石島に帰ってくると、港で島民の方々は必ず「おかえり。」と言ってくださいます。今まで、家に帰ったときなど、家族の間でしか使わない言葉だと思っていた私は「家族ではないのに『おかえり』と言ってくれるのはどうしてだろう」と不思議でした。

あれから四年。六年生になった今では、この意味がよく分かります。島民の方々は、島に住むすべての人を「一つの家族」だと思ってくださっているのです。私の住む悪石島。私も、家族の一人として島の役に立てるように頑張りたいです。そして、今日も船から下りてくる島民の方々に声をかけます。「おかえりなさい」と大きな声で。